

静岡県自然ふれあい施設

自然ふれあい施設は、全国で自然ふれあい活動の機会を提供している施設です。
公共施設としては、
国立・国定公園内にあるビジターセンター、
自然観察の森、環境と文化のむら、
ふるさといきものふれあいの里、
ふるさと自然のみちなどの施設があります。



天竜の森

天竜の森は、浜松市天竜区春野町と佐久間町にまたがる竜頭山を中心とした約95haの県営林を整備した森林です。大きく「仙人(そまびと)の森」「野鳥の森」「修験の森」の3つの森に分かれ、春の新緑や秋の紅葉など四季折々の表情が楽しめます。
交通案内：東名浜松 I.C. より約2時間
JR 浜松駅より国道152号線経由で約2時間30分
東名袋井 I.C. より約2時間
JR 袋井駅より約2時間30分
お問合せ：静岡県西部農林事務所天竜農林局森林整備課
浜松市天竜区二俣鹿島 559 TEL 053-926-2314

県立森林公園

県立森林公園は、森林レクリエーション活動や自然学習の場として、天然のアカマツ林を主体とした豊かな自然に恵まれた浜松市根笠、尾野の県営林(215ha)に1965年に開設されました。ビジターセンター・バードピア浜北は、自然と人との「共生」を基本理念とし、鳥類を中心とした自然に関する情報を発信し、四季折々の新しい情報を提供しています。
交通案内：東名浜松 I.C. より約30分 JR 浜松駅より約40分
連絡先：バードピア浜北
浜松市浜北区尾野 2597-7 TEL 053-583-0443
開館時間：9時00分～16時30分
休館日：毎週水曜日(祝日の場合はその翌日)
年末年始(12月29日～1月3日)
入館料：無料

檜原ふるさとの森

檜原ふるさとの森は、昭和40年代までは谷津田や薪炭林などとして利用される明るい里山でした。その里山の自然を取り戻すため整備されたのが「檜原ふるさとの森」です。
交通案内：東名相良牧之原 I.C. より約20分
東名吉田 I.C. より約30分
JR 金谷駅より約15分
お問合せ：静岡県志太檜原農林事務所森林整備課
藤枝市瀬戸新屋 362-1 TEL 054-644-9243

県民の森

県民の森は、県政百年を記念して整備された野外レクリエーション施設で、静岡市北部の井川・梅ヶ島地区にまたがる尾根沿いの約1,000haの地域です。
県民の森センター、キャンプ場などの施設は、富士見峠から約9km、豊かな大自然の懐にあります。
交通案内：静岡市街から井川方面へ50km、車で1時間45分
連絡先：県民の森管理棟
静岡市葵区井川 TEL 054-260-2214
受付時間：9時～16時(火曜定休、ただし7～8月は無休)

昭和の森

昭和の森は、昭和天皇の在位50年を記念して、林野庁が指定した自然に親しめる森です。伊豆天城山一帯の国有林1,600haがその範囲に入り、昭和の森会館を起点に、踊り子歩道や野鳥の森、八丁池など、様々なハイキングコースがあります。
交通案内：東名沼津 I.C. より約1時間
伊豆箱根鉄道修善寺駅からバス約35分
連絡先：昭和の森会館
伊豆市湯ヶ島 892-6 TEL 0558-85-1110
開館時間：8時30分～16時30分(3月～10月) 9時～16時(11月～2月)
休館日：第3水曜日 年末年始(12月29日～1月1日)

遊木の森

遊木の森は、静岡市の市街地に近接する有度山丘陵(中日本平地区)の県有地に、森林環境教育の実践の拠点として開設されました。遊木の森では、自然に親しみ、里山や森林とふれあう楽しさを伝えます。また、里山や森林の持つ役割や機能、その現状を伝え、里山や森林についての理解を深めます。さらに、周辺の暮らしや、生活の知恵、地域の歴史や文化など、人々の生活や環境と里山や森林との関係についての理解を深めます。
交通案内：東名静岡 I.C. より約30分 JR 静岡駅よりバス約40分
お問合せ：静岡県くらし・環境部環境局環境ふれあい課
静岡市葵区追手町 9-6 TEL 054-221-2848
開館時間：9時～17時(3月～10月) 9時～16時(11月～2月)
年末年始休館



檜原ふるさとの森とは

「檜原ふるさとの森」は、大井川の西側、富士山静岡空港にほど近い牧之原市北部地域にあります。ここは、昭和40年代頃までは、谷津田や薪炭林、採草地などとして利用され、明るい森と湿地・草地を持つ里山でしたが、長期間放置されてきたため、里山本来の自然環境が失われつつありました。
「里山」とは、人里に近く、谷津田や薪炭林、ため池、小川などがモザイク状に分布する場所をいいます。里山は、生物多様性保全の面からも、重要な環境であることが注目されています。里山は、人の生活の中で、地域の気候風土と密着・共生した中で形作られてきたため、人の関わりがないと適切に維持することができません。人と自然が長い年月をかけて形作ってきた里山の自然環境を、私たちの手で取り戻し、次の世代に引き継いでいくために誕生したのがこの「檜原ふるさとの森」です。
ここでは、里山の自然をそのまま残すため、施設を「自然ふれあいゾーン」「研究・教育ゾーン」「サンクチュアリゾーン」の3つのゾーンに区分しています。サンクチュアリゾーンには施設管理や学術調査以外は立ち入り禁止となっていますが、将来どのような環境に戻ってくるのか、楽しみです。

植物ごぼれ話

…卵の花の匂い

「卵(う)の花の匂う垣根に…♪」
懐かしの唱歌「夏は来ぬ」の一説ですが、ここに唄われている情景が、まさにかつての里山の風景です。里山とは、人と自然がゆったりと共生し、野の花や鳥の鳴き声に季節のうつろいを感じられた場所なのです。
この檜原ふるさとの森も、そんな里山の自然を取り戻すことを目的に整備されました。
ここに唄われている卵の花がウツギです。ウツギは野山に普通に見られるユキノシタ科の落葉低木です。枝の中が中空になっていることから「空木(うつぎ)」と呼ばれたもので、旧暦の卯月(4月)に咲くことから卵の花と呼ばれました。



空木 ウツギ	ユキノシタ科 Saxifragaceae
	DEUTZIA CRENATA 野山に普通にみられる落葉低木。枝は中空になっている。ウノハナともいい、初夏にかわいらしい白い花が咲く。

旧暦の卯月は現代の5月中旬。初夏の頃、満開の白い花は、まさに匂うがごとく咲き誇ります。しかし、ウツギの花の匂いってどんな匂いなのでしょう？
図鑑や解説書にも、あまり匂いのことは触れられていません。「匂いはなく、匂うがごとく咲き誇るという形容だ」という説も多いようですが、専門家によると、「ウツギの花には香りがある、花数が少ないと香りは薄い、花数が多いと香りは強調されるようだ。ウツギの花の香りは花蜜と花粉がベースになっているのではないかとと思われる」とのことです。
あなたもウツギの花の匂いを感じてみませんか？